



食器洗い機 取扱説明書 DW8 41 FI



— 目次 —

！安全上の注意とお願い	1
1. クイックユーザーガイド	7
2. コントロールパネル	8
3. 各部位の名称	9
4. 初めてご使用になる前に	10
5. 洗剤、リンス剤の入れ方	11
6. 食器について	13
7. プログラムガイド	16
8. ご使用方法	17
9. メンテナンスとクリーニング	19
10. 故障診断	23
11. サービスセンターについて	26

！安全上の注意とお願い 安全にお使いいただくために必ずお読みください

- ※ ご使用前に、この安全上の注意とお願いを良くお読みの上、正しくお使いください。
- ※ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用される方や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ※ 以下の取扱説明書を守らずに、ケガをしたり、故障をした場合は弊社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- ※ この取り扱い説明書は紛失しないよう、大切に保管してください。

本書中の絵表示の説明

説明内容を見逃し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。



警告

この表示を見逃し、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃し、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損傷などの発生が想定される内容を示しています。

取り扱い説明書にある警告図記号（マーク）や説明文などをよく読んで正しくお使いください。



禁止マーク

製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するマーク



注意マーク

製品の取り扱いにおいて、発火、高温等に対する注意を喚起するマーク



分解禁止

製品を分解してはいけません。感電やけがの原因になります。



感電注意

分解したり、水をかけると感電の原因になります。



接触禁止

触ってはいけません。けがの原因になります。



発火注意

使い方を誤ると、発火の原因になります。



火気禁止

火気を近づけてはいけません。製品が発火する原因になります。



高温注意

高温になる部分があり、触ると火傷の原因になります



湿気の多い
場所での
使用禁止

湿気の多い場所などで使ってはいけません。漏電によって、感電や発火の原因になります。



指のケガに注意

使い方を誤ると指のケガの原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で製品を触ってはいけません。感電の原因になります。



手を挟まれない
よう注意

ドア、挿入口などで、手指を挟まれ、思わぬけがの原因になります。



火傷の危険

ドアが熱いことがあります。火傷の原因になります。



損害注意

機器に損害を与える可能性があります。

！安全上の注意とお願い

	指示マーク	製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するマーク	
	電源プラグをコンセントから抜いてください。		安全アース端子付きの製品の場合、アース線を必ず接続してください。
電源プラグを抜く		アース接続	

■重傷とは：火傷（高温・低温）、感電、怪我、失明、骨折、中毒など後遺症が残ったり、入院や長期にわたる通院が必要なものをさします。

■傷害とは：治療のため絵、入院や、長期にわたる通院が必要とされない、怪我をさします。

■物的損害とは：財産の損害、機器の損傷が含まれます。

梱包材の廃棄

- このアプライアンスの梱包材はリサイクル可能です。
梱包材を適切な廃棄物収集センターに廃棄してリサイクルします。

- この製品を家庭廃棄物として処分することは禁止されています。
この製品の正しい廃棄方法：製品またはパッケージ内のこの記号は、この製品が家庭廃棄物として扱われないことを示しています。代わりに、電気・電子機器のリサイクルのために適切な廃棄物収集場所に持ち込む必要があります。この製品を正しく廃棄することで、この製品の不適切な廃棄物処理によって引き起こされる可能性のある、環境や人間の健康に悪影響を与える可能性を防ぐことができます。この製品のリサイクルの詳細については、地方自治体の家庭廃棄物処理サービス、または製品を購入した販売店にご連絡ください。



環境保全のためにリサイクル素材を使用しています

機械を梱包しているパッケージは、100%リサイクル可能な素材で、できています。お客様の地域のゴミ条例に従って処理してください。機械も同様リサイクル可能な素材からできています。機械を処理する場合も、環境保全に適した方法で処理してください。



警告

パッケージとアプライアンスの処分については、リサイクルセンターに連絡してください。この際、電源ケーブルを切断し、ドアロック装置を使用不可にします。

段ボールの梱包材は再生紙から製造されており、リサイクルのために古紙で廃棄する必要があります。

この製品を正しく廃棄することにより、この製品の不適切な廃棄物処理によって引き起こされる可能性のある、環境と人間の健康に対する潜在的な悪影響を防ぐことができます。

この製品のリサイクルの詳細については、最寄りの市役所および家庭廃棄物処理センターにお問い合わせください。

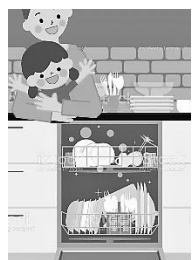
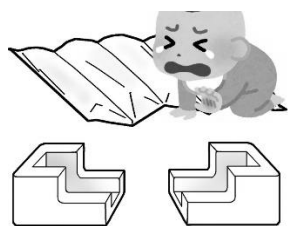
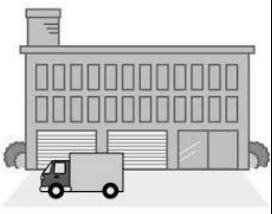
廃棄：この製品を分別しない一般廃棄物として廃棄しないでください。

特別な処理のために、このような廃棄物の分別収集が必要です。

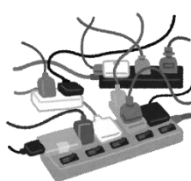
輸送や設置の際の取扱に関する警告・注意

 注意	食器洗い機の設置及び接続は、専門技術者または販売店にご依頼ください。		食器洗い機が損傷する可能性がある為、すべての梱包材や付属品を操作前に外してください。
 	食器洗い機は慎重に取り扱って下さい。持ち上げる際は、各突出部を持たないでください。運搬中、機械のドアをハンドルとして使用することはできません。	 	漏電時の感電の恐れがあるため、必ずアース線を正しく取り付けてください。(販売店・サービスセンターにご依頼ください。)
	電源電圧と周波数は、食器洗い機の電源電圧・周波数と同じになるように注意してください		食器洗い機は湿度の高い場所に設置しないでください。
 警告	水と電気機器は、製造業者の指示および地域の安全規制に従って、資格のある技術者が接続してください。		安全を確保するため、電源コードのプラグは接地された3極ソケットに挿入する必要があります。慎重に確認し、ソケットが適切かつ確実に接地されていることを確認してください。
 	安全のため、食洗機の設置中にケガをしないよう保護手袋を着けてください。		正常に機能しなくなる恐れがありますので、食洗機は水平に設置してください。
	ビルトイン式の食洗器は、必ずカウンター下にしっかりと固定するよう設置してください。		ドアが正しく開閉するようスプリングが均等に調整して設置されているかを、確認してから電源に接続してください。
	新しいホースセットを給水本管に接続し、古いホースセットは再利用しないでください。		最大許容入口水圧は 1MPa です。 最小許容入口水圧は 0.04MPa です。
 	本製品が損傷する恐れがありますので、高熱を発する調理機(ガスコンロ等)の下や横に設置しないでください。		電源コードが損傷した場合は、市販のコードに交換したりせず、必ず当サービスセンターにご連絡ください。
 	食洗機の損傷を防ぐため、完全にエア抜きされた配管に接続されているか確認してから使用してください。	 	給水ホースは、水漏れ防止用の導線が取り付けられているモデルの場合、切って短くしないでください。
 	付属品のプラスチック袋には電磁弁が含まれていますので、水につけないよう気を付けてください。	  	食洗機の後ろはコンセントと製品の間に十分スペースを取り、加熱や破損、火災、感電の恐れをなくすため、次の点にご注意下さい。電源コードを無理に曲げる／引っ張る／ねじる／束ねる／高温部に近づける／重い物を載せる／加工する
 警告	コンセントに適合しない場合、食洗器に付属のプラグを改造しないでください。	 	資格のある電気技師が適切なコンセントを設置してください。
	基盤を改ざんしないでください。		設置中、電源コードを過度に、または危険に曲げたり、平らにしたりしないでください。

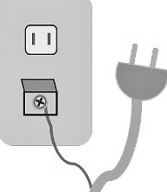
！安全上の注意とお願い

お子様をケガや、事故から守るために			
警告  	3歳未満のお子様は、常に保護者の監督の元、製品に近づかない様にして下さい。 お子様は製品で遊ばないようにして下さい。 	注意 	運転中はドアが非常に熱くなることがあります。お子様やペットが製品に近づかない様にして下さい。 
 注意 	障害をお持ちの方や8歳以上のお子様を取り扱う場合には、製品の使用方法が分かる大人や監督者と一緒に行ってください。 	 警告 	ペットや子供が食器洗い機に入り込む可能性があります。操作する前には必ず中を確認して下さい。 
警告 	お子様は洗剤を誤飲した場合は、直ちに医師に相談して下さい。 	警告 	保護者の監督なしで、お子様だけで、本製品のお手入れや、メンテナンスをさせてはいけません。 
 	洗剤が誤って目に入った場合は、ぬるま湯で目をすすいでください。 	注意 	洗剤は、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、口内の炎症や呼吸ができなくなる恐れがあります。 
 注意 	梱包材は危険です。すべての梱包材(ビニール袋、フォームなど)はお子様に触らない様にしてください。 	 	お子様は誤って庫内に閉じ込められたりしないよう、食洗機を破棄する場合は、ドアロックを壊し、地域の条例に従ってください。 

！安全上の注意とお願い

食器洗い機のご使用時における注意点					
  	食器洗い機の定格電流よりも低い定格電流のソケットは使用しないでください。濡れた手で電源プラグを抜かないでください。		  	延長コードやマルチソケット、たこ足配線で電源に接続せず、主電源に直接接続してください。	
 注意	この食器洗い機は屋内専用です。固定されていない船内などで使用することはできません。			濡れた手で電源プラグなど電気製品に触れたり、電源スイッチを操作しないでください。感電の原因となります。	
 警告  	本体の内外部に可燃性のクリーナーを使用しないでください。火災や爆発の原因になります。		 警告  	可燃性および爆発性または有毒な溶剤は禁止されています。ガソリンやアルコールなどは洗剤として使用しないでください。	
	運転中は高温になりますのでドアを開けないでください。高温による火傷や、思わぬ事故を起こす恐れがあります。		 注意	必要の無いときには、スイッチをオフにして、蛇口を締めてください。	
 注意	食洗機のドアを開けたままにしていると、ぶついたり、害虫が入る場合がありますので、閉めてください。			クリーニングは運転直後に行わないでください。やけどの原因になります。	
 注意	先の尖ったフォークやナイフは、カトラリーバスケットに下向きに入れてください。長いものは、上段ラックの上に刃先を奥に向けて平行に寝かせて置いてください。ケガの原因となります。		 注意	食洗機用の洗剤を飲んだり、吸い込んだりした場合は、速やかに医師に相談してください。また、業務用や工業用の洗剤/乾燥仕上げ剤は使用しないでください。製品の損傷や化学反応が起きる危険性があります。	
	長時間使用しない場合は、必ず電源を抜いてください。劣化による感電や漏電する恐れにつながります。		 注意	粉末洗剤やリンス剤以外の液体洗剤を、容器が破損する恐れがありますのでリンス剤投入口に入れないでください。	
	必ず TEKA の部品や付属品をご使用ください。 これによって生じる被害や損害の責任は負いかねます。」				

食器洗い機のご使用時における注意点

	この製品は、家庭用及び次のような同様の環境での使用を目的としています: ショップ、オフィス、その他従業員用キッチンエリア。 民宿タイプのキッチンなど		感電の危険を防ぐため、食洗機、コード、プラグを水やその他の液体に浸さないでください。	
	製品のクリーニングやお手入れの前に、必ずプラグを抜いてください。		中性洗剤で湿らせた柔らかい布をで清掃し、その後乾いた布で再度拭いてください。	
 注意	プラグは、地方自治体の法令および条例に従って設置および接地された適切なコンセントに接続する必要があります。		食洗機が適切に接地されているかどうか分からない場合は、資格のある電気技術者またはサービス担当者に確認してください。	
	食洗機のドアやバスケットに座ったり、のったりしないで下し。		食洗機のパネルがすべて適切に設置されていない限り、使用しないでください。	
 注意	洗浄後、洗剤がなくなっていないかチェックしてください。 洗濯用や手洗い用の洗剤は食洗機に使用しないでください。	 注意	全自動食洗機用に作られた洗剤とリンス剤のみ使用してください。	

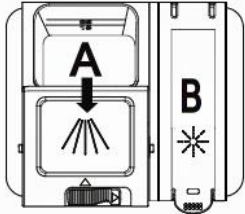
⚠ 注意



以下の食器類は食器洗い機で洗わないでください。

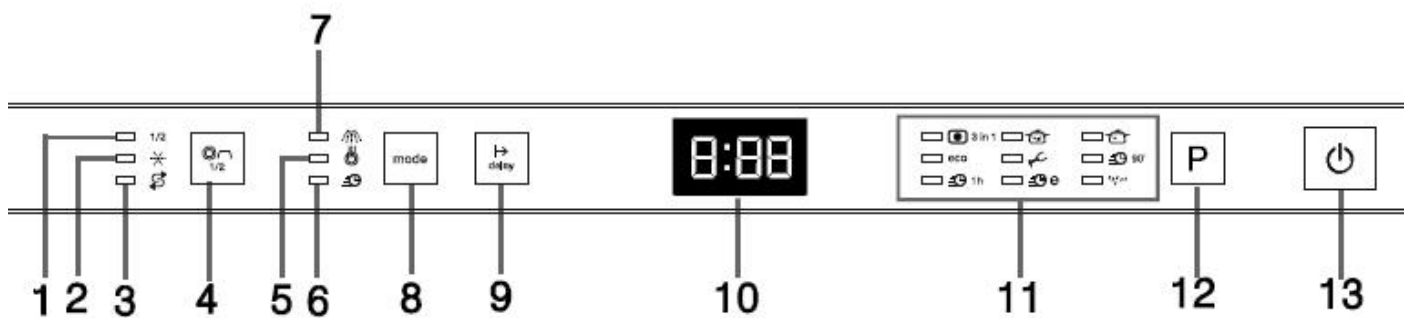
木製の製品。木製の取手が付いた物。また、取手が付いているものは、加熱により取れる可能性があります。	アルミの食器、錫、銀製品。	耐熱温度 90℃以下、または耐熱温度表記のないプラスチック製品。
陶磁器(上薬が塗られていないもの)手焼き陶器	漆塗りの食器や箸。金箔入りの食器。	銀製のフォークやスプーンはマスタードや卵(硫黄成分を含んだ食品)に触れると変色します。素早く手洗いしてください。
メッキ加工されたもの。ブリキ製品。	カットガラス、クリスタルガラスなどの高級ガラス製品。	金線・銀線及び上絵付きの食器。変色及び退色する恐れがあります。

1. クイックユーザーガイド

給水栓を開き 扉を開け電源を入れる	給水栓を開けドアを開き、電源ボタンを押して食洗機のスイッチを入れます
↓ 洗剤を投入する ↓	洗剤ケースの蓋(Aのマークが付いている)を開け、本洗い用洗剤を入れ蓋を閉じます。 予洗い用洗剤は庫内に直接落とします。 (洗剤の入れ方 P.11 を参照してください) 
リンス剤(仕上げ剤)の量を確認する	必要の場合は蓋の下の方からリンス剤を補充します(B マーク)
↓ ソルト剤の量を確認する ↓	補充が必要な場合、コントロールパネルのソルト剤補充ランプを確認します。 ※ヨーロッパはほとんど硬水地域の為必要ですが、日本は軟水地域の為基本ソルト剤は必要ありませんので、ランプが点いていても運転に問題有りません。そのまま使用可能です。 
食器を入れる プログラムを選択する ↓	「食器の入れ方(P.13)」を参照してください 選択したプログラムが点灯するまでプログラムボタンを押します。 (「ご使用方法(P.17-19)」を参照)
洗浄を開始する	ドアを閉じると、すぐにプログラムが始まります。
●プログラムを変更する ●食器を追加する ●途中で食洗機の電源が切れた場合 ↓	P.18 参照 ⚠ ご注意！ :ドアを開ける際、熱い蒸気に気を付けてください。
電源を切る ↓	プログラムが終了すると、食器洗い機のブザーが8回鳴り、停止します。 電源ボタンを押して電源を切ります。電源ボタンを押さないと、自動的にスタンバイ状態になり、30分後電源がオフになります
給水栓を閉め 食器を取り出す	警告: 熱いうちは食器や調理器具が壊れやすい為、食器を取り出す前に数分(約15分)待って下さい。そうする事で食器をさらに乾燥させる事が出来ます。最初に、下のバスケットから取り出して下さい

⚠ 重要！！ ご使用の前に取扱い説明書をご一読ください。

2. コントロールパネル

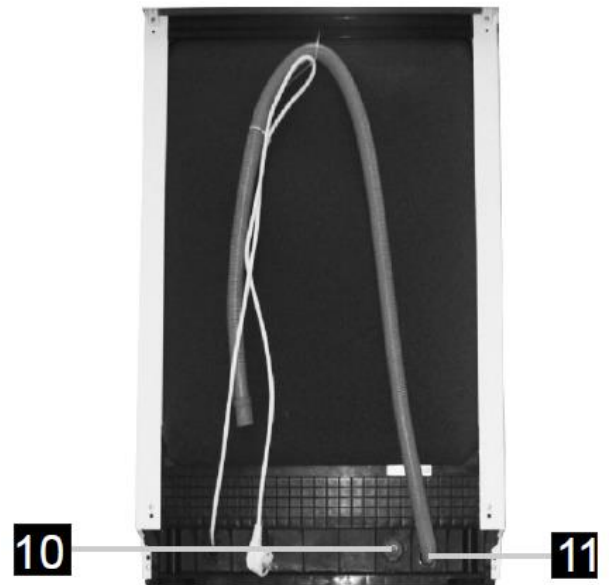
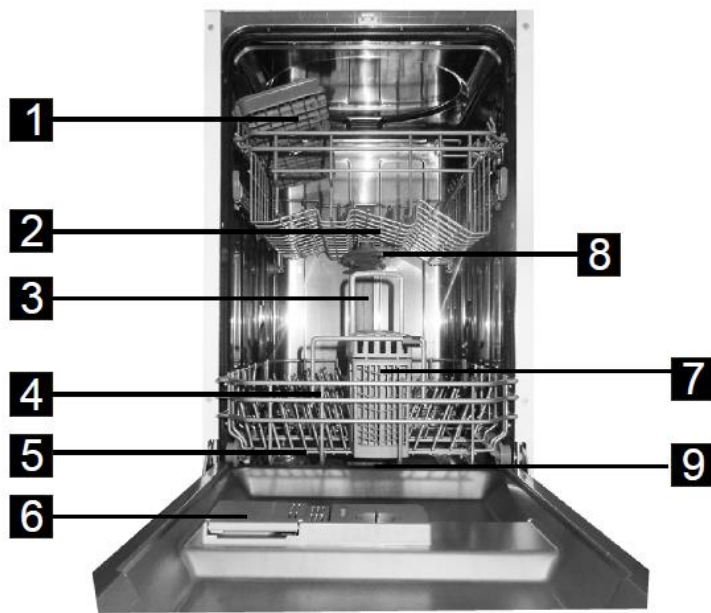


1	ハーフロード（半量）機能表示ボタン ハーフロード機能が起動しているかどうかを表示します。	8	オプション機能選択ボタン 選択出来るプログラムは1つです。 プログラム選択後、必要な場合ボタンを押してオプションを選んでください。 通常／強力洗浄／強力乾燥／急速洗浄
2	リンス剤補充警告ランプ リンス剤の補充が必要になると点灯します。	9	予約タイマーボタン 予約タイマーを設定し、プログラム開始を数時間後に遅らせることができます。(P.19 参照)
3	ソルト剤補充警告ランプ (P. 7 と P. 11 参照)	10	ディスプレイ プログラム時間と予約時間を表示します プログラム残り時／予約時間
4	ハーフロード（半量）機能ボタン (このハーフロード機能を設定すると、6 人分以下の食器がある場合にのみ使用でき、水とエネルギーの消費が少なくなり、強力／通常／ECO／ガラス／90 分でのみ使用可能です。)	11	プログラム表示ランプ 選択したプログラムのランプが点きます。
5	強力乾燥表示ランプ 追加乾燥の機能が起動しているかどうかを示します。	12	プログラム選択ボタン プログラムを選択すると、それに応じた表示ランプが点灯します。
6	急速洗浄表示ランプ 追加洗浄機能が起動しているかどうかを示します。	13	電源オンオフボタン 電源の入/切 ができます。
7	強力洗浄表示ランプ 急速洗浄機能が起動しているかどうかを示します。		

3. 各部位の名称

前方

後方



- 1 カップ用シェルフ
- 2 上段バスケット
- 3 内部パイプ
- 4 下段バスケット
- 5 ソルトケース

- 6 洗剤ケース
- 7 カトラリーラック
- 8 スプレーアーム
- 9 フィルター
- 10 内部パイプ用接続
- 11 排水パイプ

4. 初めてご使用になる前に・・・

食器洗い機を初めて使用する前に

初めて食洗機をご使用になる前に洗剤とリンス剤を投入してください。

洗剤について

【注意】

適切な洗剤の使用

食器洗い機専用の洗剤のみを使用してください。洗剤は清潔で乾燥した状態で保管して下さい。食器を洗う準備ができるまで、粉末洗剤を洗剤ケースに入れないでください。手洗い食器用洗剤や重曹の使用は避けて下さい。故障の原因になります。

洗剤

以下の洗剤があります

1. リン酸塩・塩素あり
2. リン酸塩あり、塩素なし
3. リン酸塩なし、塩素なし

通常、最近の粉末洗剤にはリン酸塩が含まれていません。したがって、リン酸塩のリンス剤機能はありません。この場合、水の硬度が6° dHしかない場合でも、容器にソルトを入れることをお勧めします。硬水の場合、リン酸塩を含まない洗剤を使用すると、食器やガラスに白い斑点が残ることがありますがその場合は洗剤を追加してください。

また、塩素を含まない洗剤は漂白力が弱く、強力な斑点は完全に除去されないことがある為、高い温度のプログラムを選択してください。

濃縮洗剤

以下の2つのタイプに分けることができます。

- 従来のアルカリ性洗剤
- 天然酵素を含む低アルカリ濃縮洗剤

洗剤タブレット

それぞれのブランドの洗剤タブレットは、溶解速度が様々です。このため、一部の洗剤タブレットは、短いプログラムでは溶けきれず完全な洗浄力を発揮できない場合がある為、洗剤タブレットを使用する場合は、長時間プログラムを使用してください

洗剤ケース

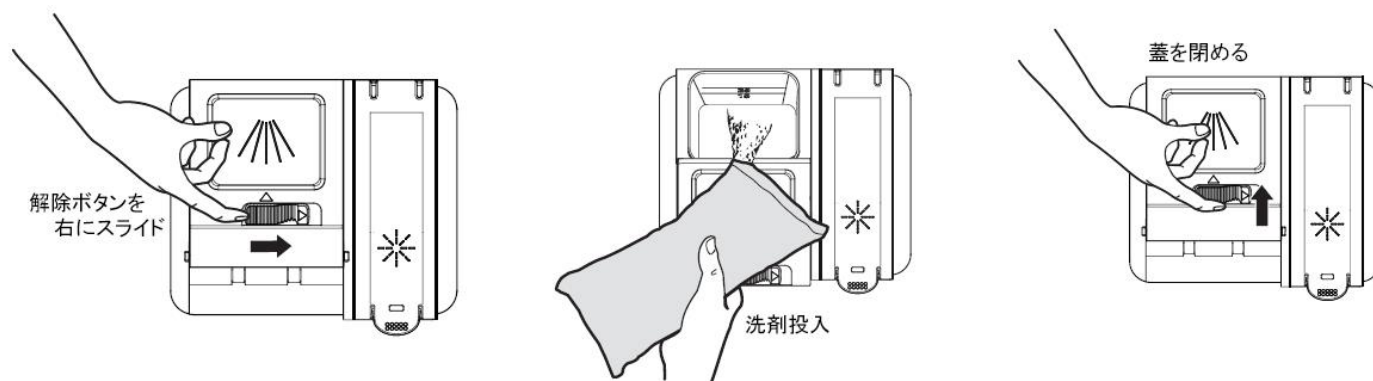
洗浄サイクル表に記載されている指示に従って、各洗浄サイクルの開始前に洗剤ケースに洗剤をいれてください。この食器洗い機は、従来の食器洗い機よりも少ない洗剤とリンス剤で洗浄できます。

通常 — 大さじ1杯

汚れが酷い場合 — 汚れに応じて洗剤の量を増やして下さい

洗剤が湿気を帯びると適切に溶けない恐れがあるため、洗剤は必ず食洗機を起動する直前に追加してください。

5. 洗剤の入れ方



蓋の下にある洗剤ケースに本洗い用の食器洗い機用の洗剤を入れます。
予洗い用洗剤は、直接庫内に入れてください。

	注意 ■ 蓋が閉じている場合：解除ボタンを右へスライドさせると蓋が開きます ■ 必ず、各洗浄サイクルを開始する直前に洗剤を追加してください。 ■ 食器洗い機には専用の洗剤を使用してください
--	--

	警告 食器洗い機用洗剤は腐食性です！ 子供の手の届かないところに保管してください。
--	--

	注意 ■ 汚れのレベルと水の硬度の違いに応じて洗い上がりに違いがある場合があります。 ■ 洗剤の包装にあるメーカーの推奨事項に従ってください。
--	---

ソルト剤の補充について

	注意：ソルト剤について ヨーロッパの硬水地域では、硬水に含まれる次亜鉛素酸カルシウム(カルキ)を除去するためソルトを洗剤と同様に使用します。日本の軟水地域の場合は、ソルトを入れる必要はありません。 ソルト不足を表示するランプが点灯していても、運転に問題はありませんので、そのままご使用ください。
--	---

リンス剤（仕上げ剤）の投入

リンス剤ケース

リンス剤は、最終すすぎ中に放出され、食器に水滴がつくのを防ぎ、乾燥を促進します。

食洗機は液体のリンス剤を使用するように設計されており、ドアの内側の洗剤ケースの隣がリンス剤ケースになります。

キャップを開き、レベル表示が完全に黒くなるまでリンス剤をディスペンサーに注ぎます。リンス剤ケースの容量は約 110ml です。

リンス剤の機能

リンス剤は、最後のすすぎ時に自動的に追加され、乾燥の仕上がりを良くします。



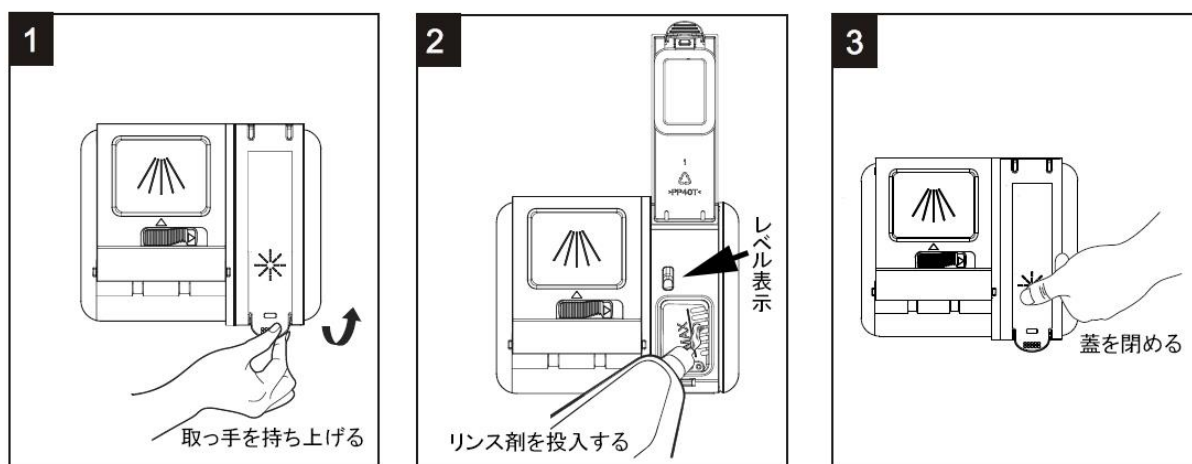
警告

食器洗い機には専用のリンス剤のみを使用してください。

破損の原因になる為、リンス剤ケースには絶対に他の洗剤を入れないでください。

リンス剤ケースへの補充時期

リンスエイド警告表示がコントロールパネルで点灯した場合は、リンス剤を補充する必要があります。



1. 取っ手を持ち上げて、蓋を開けます。
2. 溢れないように注意しながら、リンス剤をケースに注ぎます。
3. 蓋を閉めてください。

⚠ 注意：補充の際にこぼれたリンス剤は布できれいに拭き取り、次の洗浄中に過度の泡が発生しないようにします。食器洗い機のドアを閉じる前に、必ずリンス剤の蓋が閉じているか確認して下さい。

リンス剤ケースの調整

限られたリンス剤でよりよい乾燥を行っていただく為、投入量は調整できるように設計されています。

以下の手順に従って投入量を調整してください。

1. 食器洗い機の電源を入れて電源を入れます。
2. 60 秒以内に、プログラムボタンを 5 秒以上押して下さい。
次に投入量を入力する為予約タイマーボタンを押すと、リンス剤ン表示が 1 Hz の周波数で点滅します。
3. プログラムボタンを押して、使用に応じて適切な投入量を選択します。
投入量は次の順序で変更されます : H1 ⇒ H2 ⇒ H3 ⇒ H4 ⇒ H5 ⇒ H1
リンス剤ケースは、H6 レベルで最も多くのリンス剤を投入します。初期設定は「H3」です。
4. 5 秒間他の操作をしないか、または電源ボタンを押して操作を終了すると設定が完了します。

注) 洗浄後、食器に水滴や石灰跡がある場合は、投入量を増やしてください。

皿に粘着性の白っぽい汚れがある場合、またはガラス製品やナイフの刃に青みがかったフィルムがある場合は、投入量を減らしてください。

5. 食器について

- 食器洗い機の使用が可能な食器を入れて下さい。
- 中性洗剤を使用してください。 必要に応じて、洗剤メーカーに詳細情報を求めてください。
- 特定の項目については、可能な限り低い温度のプログラムを選択します。
- 食器の損傷を防ぐため、プログラム終了後しばらくたってからガラスやカトラリーを取り出してください。

食器・カトラリーを洗う

洗えないもの

- 木製のカトラリー、ボーンチャイナ（骨董灰磁器）または白蝶貝で作られたもの
- 耐熱性のないプラスチック製品
- 耐熱性のない接着剤で接着している古いカトラリー
- 接着されたカトラリーアイテムまたは食器
- しろめ製（錫と鉛を混ぜた合金）の製品または木製製品
- クリスタルガラス
- 錆びやすいスチール製品
- 木製の大皿
- 合成繊維で作られた製品
- 漆喰の食器やはし、金箔入りの食器

注意が必要なもの

- ガラスを大量に洗浄すると白く濁ることがあります
- 銀とアルミニウムの製品は、洗浄中に変色する可能性があります
- 食洗機で頻繁に洗浄すると艶出し模様が消える可能性があります

食器の入れ方

※バスケットとカトラリーバスケットの機能と外観はモデルによって異なる場合があります。

次の方法で食器洗い機に食器類を配置します。

- コップ、グラス、鍋などのアイテムは水が流れ落ちるよう下向きや斜めに配置してください。
- 食器が倒れない様に、また重ならない様に配置してください。
- 洗浄中にスプレーアームの回転を邪魔しない様に配置してください。
- グラスが割れるのを防ぐ為に他の物と接触しない様にして下さい
- 下段バスケットには、大きい物や洗浄が難しい物を入れてください
- 上段バスケットにはグラスや、カップなど繊細で軽い物を入れて下さい
- ナイフ等の長くて鋭い刃物は上部バスケットに水平に入れて下さい。
- エネルギーの消費と仕上がりの効果を高めるため、入れ過ぎには注意して下さい。



注意

小さなアイテムは、バスケットから落ちる可能性があるため、食器洗い機では洗わないでください。流水で事前に皿をすすぐ必要はありませんが、大量の食べ残しがある場合はこすり落とし、フライパンに焦げついたものは柔らかくし取れやすくしてから入れて下さい。

食器を取り出す

上段バスケットから下段バスケットに水が滴るのを防ぐため、最初に下段バスケットを空にしてから上段バスケットを空にすることをお勧めします。

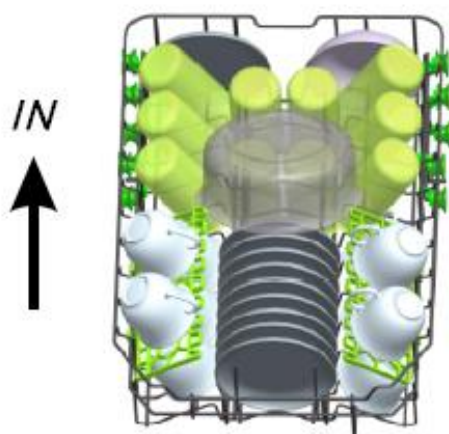
日常使用する食器の入れ方

上段バスケットの入れ方

上部のバスケットは、グラス、コーヒー、ティーカップ、ソーサーなどのより繊細で軽い食器、皿、小さめのボウル、浅い鍋（あまり汚れていないもの）を置くように設計されています。

皿や調理器具は、スプレーアームからの水の噴射によって動かないように配置します。

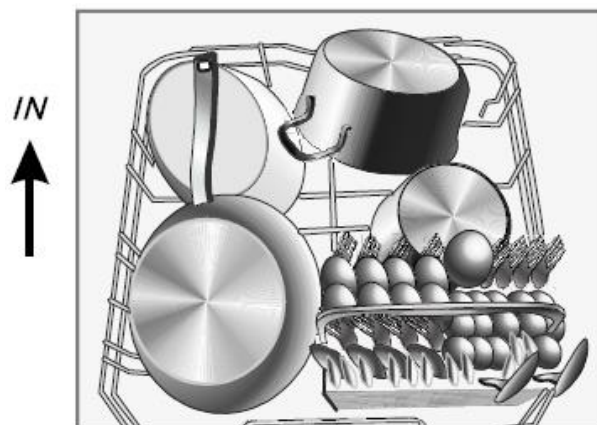
前面



下段バスケットの入れ方

下図に示すように、大きいアイテムを配置し、最も洗浄が難しいアイテムは下のバスケットに入れることをお勧めします。たとえば、鍋、フライパン、ふた、皿、ボウルなどです。上部スプレーアームの回転を妨げないようにするために、ラックの側面に皿とふたを置くことが望ましいです。

前面



次のことに注意してください：

- 鉢、サービングボウルを入れる場合は、上段バスケット⇒下段バスケットの順に置いてください。
- 深い鍋は、水が落ちるように傾けて置いてください。
- 下段バスケットの奥のプレートホルダーは倒せるようになっており、より大きな、またより多くの鍋やフライパンを配置できます。

上段バスケットの調節

上段バスケットの高さは、上段/下段バスケットの両方に大きな調理器具用のより多くのスペースを確保するために調整できます。上段バスケットの高さは、レールの異なる高さに置くことで調整できます。長いアイテム、カトラリー、サラダサーバー、ナイフは、スプレーアームの回転を妨げないように棚に置いてください。



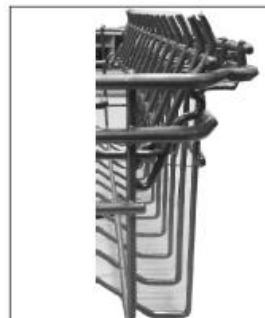
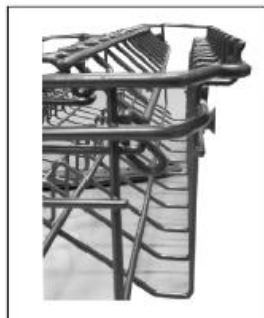
高い位置



低い位置

コーヒーカップ用折り畳みシェルフ

鍋とフライパンをよりよく積み重ねるために、右の写真のようにスパイクを折りたたむことができます。



下段バスケットの折り畳みスパイク

鍋とフライパンをよりよく積み重ねるために、右の写真のようにスパイクを折りたたむことができます。



カトラリーバスケット

カトラリーは、ハンドルを下にしてカトラリーバスケットに入れてください。ラックにサイドバスケットがある場合は、スプーンを適切な溝に個別に入れる必要があります。特に、長い道具は、図に示すように、上段バスケット前面の水平位置に配置する必要があります。

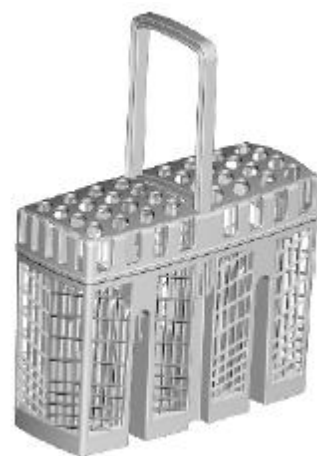


！ 注意

- カトラリーはバスケットの底からはみ出さないように入れてください。
- ナイフやフォーク等は鋭利な先端を上にして入れてください。

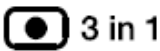
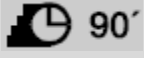
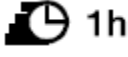
個人の安全と最高品質の洗浄のために、次のことに注意して銀器をバスケットに入れてください。

- 食器同士が接触しないよう注意して入れてください。
- 銀器はハンドルを下にして置かれます。
- ただし、ナイフやその他の潜在的に危険な調理器具はハンドルを上にして置きます。



7. プログラムガイド

注意 : プログラムを選ぶ前にリンス剤を入れてください

プログラム	説明	詳細	洗剤量 予洗い/本洗い	時間 (min)	消費電力 (Kwh)	水量 (L)	リンス 剤
オールインワン 	通常汚れの食器用で、汚れが乾燥していない状態。	洗浄 (50℃) すすぎ すすぎ (65℃) 乾燥	25 g 1 個	210	0.92	10	★
強力 	ひどい汚れや乾燥した落ちにくい汚れの鍋やフライパン、食器などに適しています	予洗い (50℃) 洗浄 (60℃) すすぎ すすぎ すすぎ (70℃) 乾燥	3/22 g 1 個	165	1.4	16.5	★
通常 	お皿やグラス、カップ等通常の汚れや軽い汚れの鍋を洗う場合に適しています	予洗い (45℃) 洗浄 (55℃) すすぎ すすぎ (65℃) 乾燥	3/22 g 1 個	175	1.1	13	★
エコ eco (*EN50242)	標準的なプログラムで、通常の汚れの食器を洗うのに適しています エネルギーと水の消費量の面で最も効率的なプログラムです。	予洗い 洗浄 (45℃) すすぎ (62℃) 乾燥	3/22 g 1 個	205	0.74	9	★
グラス 	軽く汚れた食器やクリスタルグラス、高級な陶磁器の洗浄に適しています。	予洗い 洗浄 (40℃) すすぎ すすぎ (60℃) 乾燥	3/22 g 1 個	134	0.81	13.5	★
90 分 	優れた乾燥効率を必要としない軽い汚れの食器用。	洗浄 (65℃) すすぎ すすぎ (65℃) 乾燥	25 g 1 個	90	1.15	11.5	★
1 時間 	優れた乾燥効率を必要としない軽い汚れの食器用	予洗い (50℃) 洗浄 (60℃) すすぎ (60℃) 乾燥	3/22	60	0.9	9	★
急速 	軽い汚れの食器を短時間で洗浄する場合に適しています。	洗浄 (45℃) すすぎ (50℃) すすぎ (55℃)	20 g	30	0.7	10	/
予洗い 	その日のうちに洗う予定の食器の予洗いに使用します。	予洗い	/	15	0.02	3.5	/

* EN 50242 : EN 50242 に準拠し、次のとおりです。 : このプログラムはテストサイクルです。 比較可能性テストの情報

■容量 : 10 人用 ■上部バスケット : レール上の上部ホイール ■リンス剤設定 : 6 人用 ■PI : 0.49w; Po : 0.45w

待機モードの持続時間 : プログラム終了後 30 分すると、電源が自動的に切断されます。

8. ご使用方法

電源を入れる

洗浄サイクルの開始

- ①下段バスケットと上段のバスケットを引き出し、食器を載せて押し戻します。
食器は最初に下段バスケット、次に上段バスケットの順に入れることをお勧めします。
（「食器の入れ方（P.13）」を参照）。
- ②洗剤を投入し（「ソルト、洗剤、およびリンス剤」に関するページを参照）、蓋を閉めます。
- ③プラグをソケットに挿入し水栓が全開になっていることを確認します。
- ④電源ボタンを押すと、プログラムのライトが点灯します
- ⑤プログラムボタン を押すと、洗浄プログラムが次の順に変わります。

→ オールインワン → 強力 → 通常 → エコ → グラス → 90 分 → 1 時間 → 急速 → すすぎ →
All in one Intensive Normal Eco Glass 90 min 1 hour Rapid Soak
プログラムが選択されると、該当するプログラムのランプが点灯します。 必要に応じてオプションを選択し、その後、ドアを閉めると、食器洗い機は洗浄サイクルを開始します。



注意

ドアは落下する恐れがある為、上へ引き上げない様ご注意ください。

プログラム中にサイクルを変更するには

プログラムの変更は、洗浄サイクル開始後すぐであれば可能です。

すでに洗剤や洗浄水を排出している場合は、洗剤を補充する必要があります。

（「洗剤の入れ方（P.11）」を参照）。

1. ドアを開くと一時停止の状態になります。一度電源を切り、もう一度電源を入れてからプログラムを変更してください。



注意

洗浄サイクル中にドアを開けると、食洗機は一時停止（スタンバイ）になります。プログラムライトが点滅しドアを閉めるまでブザーが1分毎に鳴り続けます。ドアを閉めると、10秒後に洗浄を再開します。

食器を追加するには

洗剤ケースの蓋が開くまでは、いつでも食器を追加できます。

- ①ドアをゆっくりと少し開ける（動作を中断できます）
- ②スプレーアーム停止後、ドアを完全に開けて下さい
- ③食器を追加して下さい
- ④ドアを閉めて下さい
- ⑤10秒後に洗浄を再開します

洗浄サイクル終了後は

洗浄サイクルが終了するとブザーが8秒間鳴り停止します。

ドアを開けON/OFF ボタンを押して電源を切り、ドアを開けます。食器の熱が冷めるまでそのまま数分間置いてください。乾燥効果も上がり、食器の破損も防ぐことができます。

① 食器洗い機の電源を切る

プログラムが終了するとプログラムライトは点滅から点灯に変化します。

1. ドアを開き、ON / OFF ボタンを押して食器洗い機の電源を切ります。
2. 水道の蛇口を閉じます。



② ドアを慎重に開ける。

熱い食器は衝撃に弱い為、約15分間程度冷ましてから食器を取り出してください。

食器洗い機のドアを半開きにして、数分待ってから食器を取り出すとより放熱され、乾燥も促進されます。



③食器を取り出します

食器洗い機の内部が濡れているのは正常です。

最初に下段バスケットから取り出し、次に上段バスケットの食器を取り出します。

（上段バスケットから下段バスケットに水が滴るのを防ぎます）

■運転ランプ

- a) 製品がプログラムを実行している場合、運転ランプは常に点灯しています（本体右下の床を照らします）。
一方、製品のドアが開くと運転ランプは消灯します
- b) 洗浄プログラムが終了すると、運転ランプが点灯し1秒毎に連続して点滅します。
5分間点滅した後、自動的にオフになります。



警告！

プログラム洗浄中にドアを開けることは危険です。
熱い蒸気でやけどをする恐れがあります。

予約時間を設定するには（開始時間の予約）

- ① ドアを開ける
- ② 電源をONにする

- ③ プログラムボタン  を押しプログラムを選択する

- ④ 予約ボタン  を押しスタート時間を設定する（24時間後まで設定可能です）

9. メンテナンスとクリーニング

フィルターシステム

フィルターは、食品カスがポンプ内に入るのを防ぎます。

食品カスはフィルターに詰まり、排水不良を起こす恐れがあるため取り除いてください。

フィルターシステムは、「粗フィルター」「フラットフィルター（メインフィルター）」および「マイクロフィルター（ファインフィルター）」で構成されています。

フラットフィルター（メインフィルター） **1**

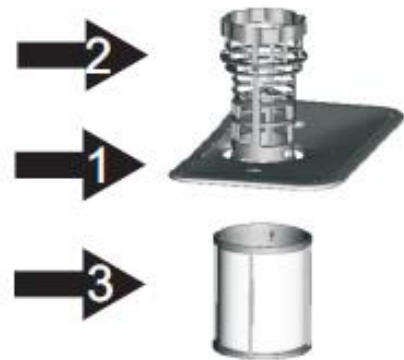
このフィルターに残った食品カスは、下段スプレーアーム上のジェットによって粉碎され、排水溝に流されます。

粗フィルター **2**

骨やガラスの破片など、排水口を塞ぐ可能性のあるより大きな物をブロックします。フィルターの上部にあるタップを軽く押して持ち上げ、引っかかった物を取り除いてください。

マイクロフィルター **3**

汚れや食べ物の食品カスを排水エリアでブロックし、洗浄サイクル中の食器への付着を防ぎます。



フィルターの組み立て

食器洗い機が最高のパフォーマンスと効果を発揮するためには、フィルターを定期的にクリーニングしてください。

半円形のフィルターとカップを流水ですすぎ、洗浄毎にフィルターに付着した大きな食品カスを取り除きます。フィルターシステムを取り外すには、カップハンドルを上方向に引きだしてください。



警告

必ずフィルターを取り付けて食洗機を使用して下さい。

フィルターを不適切に取付けると、製品のパフォーマンスレベルが低下し食器や調理器具に損傷をえる場合があります

1



フィルターを反時計回りに回す

2



フィルターを持ち上げます



注意： この手順をステップ1 からステップ2 に進めると、フィルターを取り出せます。
装着する場合は、逆の手順で行ってください。

備考：

-各サイクルの後に、フィルター内に残留物がないか確認してください。

-粗フィルターを外すと、フィルターシステムを取り外すことができます。 残留物を取り除き、流水でフィルターを洗い流してください。



注意： フィルター全体は週に1回程度は掃除してください。

粗フィルターとマイクロフィルターを掃除するには、クリーニングブラシを使用します。

クリーニング後はフィルター部品を組み立て直し、それらを食器洗い機に再び挿入し下に押し込み元に戻して下さい。



警告

フィルターをクリーニングする際は、叩かないようにして下さい。フィルターが歪み食器洗い機の性能が低下する可能性があります。

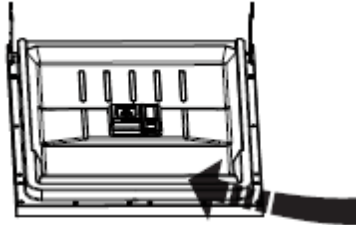
食器洗い機のクリーニング

コントロールパネルは軽く湿らせた布を使用して清掃し清掃後は、必ず完全に乾かしてください。

外側は、良質な磨きワックスを使用してください。

食器洗い機のクリーニングには、とがったもの、研磨用スポンジ、または強力クリーナーなどは使用しないでください。

ドアの掃除



ドア周りの淵の清掃には、柔らかくて温かい湿った布だけを使用してください。ドアロックや電気部品への水の浸入を避けるため、スプレータイプの洗剤は使用しないで下さい。



警告

- ドアロックや電気部品を損傷する可能性があるため、スプレータイプの洗剤を使用してドアパネルを清掃しないでください。
- 研磨剤またはペーパータオルは、ステンレス鋼の表面に傷を付けたり、斑点を残す危険があるため、使用しないでください。

凍結対策

冬には食器洗い機の霜防止対策を行ってください。洗浄サイクル後、次のように操作してください。

- ① 食器洗い機の電源を切ります
- ② 水栓を閉め、給水バルブから給水ホースを取り外します。
- ③ 給水ホースと給水バルブから水を排出します。（鍋などを使って水を集めてください）
- ④ 給水ホースを給水バルブに再接続します。
- ⑤ 庫内底にあるフィルターを取り外し、スポンジを使用して水溜めに水を入れてください。



注意：凍結により食器洗い機が動かなくなった場合は、サービスセンターへお問い合わせ下さい。

スプレーアームのクリーニング

硬水の石灰質がスプレーアームのジェット（噴出口）とベアリング（軸受け）を詰まらせるため、スプレーアームを定期的にクリーニングしてください。

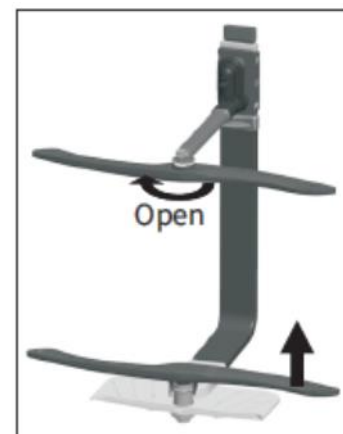
一食器洗い機を使用するたびに、フィルターが詰まっているか確認してください。

一粗いフィルターを緩めると、フィルターシステムを取り外すことができます。食品カスを取り除き、流水でフィルターを洗います。

備考：

フィルターアセンブリ全体は週に1回清掃する必要があります。下部スプレーアームを取り外すには、スプレーアームを上引き出します。上部スプレーアームを取り外すには、ナットを持ち、アームを時計回りに回して取り外します。

石鹼水と温水でアームを洗い、柔らかいブラシを使用して噴出口を掃除します。よくすすいでから交換してください。



食洗機を長くご使用頂く為に

■ご使用後は・・・

ご使用後は、水栓を閉め、ドアを少し開いたままにして、湿気や臭いが籠らないようにして下さい。

■プラグを抜く

クリーニングやメンテナンスの前は、必ずプラグをソケットから取り外してください。

■溶剤・研磨材の使用不可

外側やゴム部分をクリーニングする際には、溶剤や研磨剤は使用せず、温かい石鹼水を含ませた布を使用してください。

内部の表面の汚れやしみを取り除くには、水で少し湿らせた布、または食器洗い機専用のクリーニング製品を使用して下さい。

■長期間使用しない場合には

食器洗い機を空にして洗浄サイクルを実行し、プラグをソケットから取り外してください。水栓を止め、製品のドアを少し開けたままにすることをお勧めします。これにより、ドアパッキンが長持ちし、庫内で臭気が発生するのを防ぎます。

■製品を動かす場合には

製品を移動する必要がある場合は、垂直位置に保つようにしてください。どうしても必要な場合は、後ろ向きに配置できます。

■シール（パッキン）

食器洗い機で臭気が発生する要因の1つは、シールに、食品の残りが付着し残っていることです。

湿ったスポンジで定期的にクリーニングすると、異臭の発生を防ぐことが出来ます。

10. 故障診断（困った時に・・・）

サービスセンターに問い合わせる前に

	問題	考えられる原因	解決策
技術的な問題	スタートしない	ブレーカーが落ちていませんか？	回路ブレーカーをリセットします。食器洗い機と同じ回路を共有している他の機器をすべて取り外します
		電源は入っていますか？	食器洗い機がオンになり、ドアがしっかりと閉まっていることを確認してください 電源コードが壁のコンセントに正しく差し込まれていることを確認してください
		水圧が低くありませんか？	給水ホースの接続が正しく行われ、給水栓が開いていることを確認してください
		ドアが完全に閉まっていますか？	ドアを適切に閉じロックしてください
	排水されない	排水ホースがねじれていませんか？	排水ホースを確認して下さい
		フィルターが詰まっていますか？	フラット（メイン）フィルターを確認して下さい（「フィルターの掃除」参照）
		流しが詰まっていますか？	台所の流しをチェックし、水が良く流れているかを確認して下さい。 流しの排水がうまくされていない場合は配管工事が必要な場合があります
一般的な問題	庫内に洗剤泡がある	不適切な洗剤をしようしていませんか？	食器洗い機専用の洗剤を使用してください。 （泡が残った場合には） 食器洗い機を開け泡を蒸発させ、4L 弱の冷水を庫内に追加します。 食器洗い機を閉じてロックし、任意のサイクルを選択します。 食器洗い機は、最初のステップで水を排出します。 排水が終わったらドアを開け、泡が消えたかどうかを確認してください
		リンスエイドがこぼれていませんか？	リンスエイド（すすぎ補助剤）をすぐに拭き取って下さい
	庫内が汚れている	着色剤入り洗剤を使用していませんか？	着色剤入りの洗剤でないが確認して下さい

	問題	考えられる事	解決策
一般的な問題	内部に白い膜がある	硬水ミネラル（カルシウム・マグネシウムなど）によるものです	庫内をきれいにするには、食器洗い機専用洗剤と湿ったスポンジを使用し、ゴム手袋を着用しクリーニングしてください。 泡が発生する危険があるため、食器洗い機用洗剤以外の洗剤は使用しないでください
	カトラリーが錆びている	カトラリーは錆びる可能性があります	
		食器洗い機用のソルトを追加した後、プログラムが実行されなかったか、微量のソルトが洗浄サイクルに混入した可能性はありませんか？	クイックウォッシュプログラムを実行してください。 食器洗い機用のソルトを加えた後は、食器洗い機に食器は置かないでください。 ※ターボ機能（存在する場合）は選択しないでください。
		リンス剤の蓋がゆるんでいませんか？	リンス剤の蓋がきちんと閉まっているか確認してください
騒音	庫内で叩くような音がする	スプレーアームがバスケット内のアイテムに当たっていませんか？	プログラムを中断し、スプレーアームを妨害しているアイテムを再配置してください
	庫内でガラガラと音がする	庫内で食器類が動いていませんか？	プログラムを中断し、食器を正しく並べ替えて下さい
	水道管で叩くような音がする	設置または配管が原因の可能性あります	食器洗い機の機能には影響しません。 疑わしい場合は、適切な資格を持つ配管工に連絡してください
上手く洗浄出来ない	食器がきれいになっていない	食器が適切に配置されていますか？	「食器の入れ方」を参照して正しく入れ直してください
		洗濯したプログラムの洗浄力が弱くありませんか？	「洗浄サイクル表」を参照しプログラムを再度選択し直して下さい
		洗剤不足ではありませんか？	洗剤を追加するか、洗剤の種類を変えて下さい
		スプレーアームの経路をアイテムが塞いでいませんか？	スプレーアームが自由に回転できるように、アイテムを並べ替えてください
		フィルターが汚れていませんか？正しく設置されていますか？（スプレーアームジェットが詰まる可能性があります）	フィルターをクリーニングし正しく取り付けてください。 スプレーアームジェットをクリーニングしてください 「スプレーアームのクリーニング」を参照してください。

	問題	考えられる事	解決策
上手く洗浄出来ない	ガラス製品の曇り	軟水と多すぎる洗剤の組み合わせによる可能性があります	軟水を使用している場合は、洗剤の使用量を減らし、より短いサイクルプログラムを選択してガラス製品を洗浄してください
	皿に黒または灰色のマーク	アルミニウム製のアイテムが食器をこすった可能性があります	除去するには、中性研磨クリーナーを使用してください
	洗剤ケースに洗剤が残っている	食器が洗剤ケースを塞いでいませんか？	食器を正しく配置して下さい
上手く乾燥出来ない	食器が乾いていない	食器の配置によるものではありませんか？	食器を正しく配置して下さい
		リンス剤が少なすぎていませんか？	リンス剤の量を増やしディスペンサーに補充してください
		食器を取り出すのがはやすぎませんか？	洗浄後すぐに取り出さないでください。洗浄後は蒸気が逃げられるように、ドアを少し開き、食器が手で触れて温くなってから取り出して下さい 上のバスケットからの水が滴らないように取り出す際は下のバスケットから取り出して下さい
		間違ったプログラムを選択していませんか？	短いプログラムでは、温度が低くなり、洗浄性能が低下するため、洗浄時間が長いプログラムを選択してください。
		低品質のコーティングを施したカトラリーを使用していませんか？	これらのアイテムは水切れが通常より悪い為食器洗い機での洗浄には適していません。

エラーコード

コード	意味	考えられる原因
E1	給水時間が長すぎる	蛇口が開いているか水の摂取量が制限されているか水圧が低過ぎる
E4	水漏れ	食器洗い機の一部が漏れている



警告

■水漏れの場合は、まず蛇口の元栓を閉めてからサービスセンターへ連絡して下さい。

■水漏れしている場合

- ・修理を依頼する前に蛇口の元栓を閉めてください
- ・入れ過ぎや小さな水漏れでそこに水が溜まっている場合、食器洗い機を再起動前に、余分な水を取り除いて下さい

11. サービスセンター

日本輸入総発売元 ジンアンドマリー株式会社

〒335-0031 埼玉県戸田市美女木 5-21-7

TEL: 048-422-1143 FAX: 048-421-1274

e-mail: info@jinandmarry.com ホームページ: www.jinandmarry.com